

# ユネスコスクール子どもサミット開催！

今年度の「ユネスコスクール子どもサミット」が、13日に開催されました。今年は、各学校の実践報告に加え、「ユネスコスクール・ESDのまち宣言」が高らかに制定されました。また、教育功労者表彰や内田麟太郎感想文表彰も行われました。今号では、このサミットの様子を両面構成でお届けします。

## 「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言

私たちは、地球規模の課題を自分の問題として捉え、自分なりに考え人と人とのつながり、大牟田から世界へのつながり、過去から現在、未来へのつながりを大切にします。

そして、持続可能な社会の創り手として、身近で自分にできることから進んで行動し、誰もが幸福で平和な社会を目指してまいります。



オープニング演奏として、第11回福岡県アンサンブルコンテストで金賞を受賞した松原中学校の生徒のみなさんによる三重奏が披露されました。

## 〇開会行事



▲大牟田市教育委員会  
安田昌則 教育長

▲大牟田市  
中尾 昌弘市長



▲環境省  
環境教育推進室  
田代浩一氏

▲文部科学省  
国際統括官付  
鈴木 規子氏

## 元気な歌声



## 明治小学校



開会行事に引き続き、明治小学校の4年生が、元気な英語の歌を披露してくれました。大牟田市は、ESDはもとより、小学校英語にも先進的に取り組んできました。“If You are Happy and You know it!”の楽しいリズムが会場を盛り上げました。

## 大牟田からのメッセージ

### 吉野小・明治小・みなと小

本年度ESD大賞「文部科学大臣賞」を受賞した吉野小学校は、東日本大震災の被災地へ送った復興桜への思いや、この桜を通した絆を大切に、震災を忘れないことを改めて表しました。また、明治小・みなと小の児童が「ふるさと」を合唱し、被災地の復興を願いました。



## 講評 「年々進化をつづける大牟田のESD」

サミットの最後には、日本ユネスコ国内委員会委員、東京大学海洋アライアンス海洋教育主幹研究員の及川幸彦先生から講評をいただきました。年々充実している大牟田のESDの取組を評価していただき、今後、日本のESDを牽引するまちとして、大牟田から様々な発信をしてほしいという期待を述べられました。



▲日本ユネスコ国内委員  
及川 幸彦氏

今回のサミットでは、8校の学校が「大牟田の特色を生かして」「地域の宝を守る」のテーマをもとに実践報告を行いました。その様子を紹介します。

### 天領小学校・天の原小学校・みなと小学校



#### 「宝の海、有明海から学ぶ海洋教育」

海洋教育を進めている3校からは、「海と人との共生」をテーマに、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点から様々な実践を行っているようすが発表されました。そして、自分たちにできることや、情報の発信に取り組んでいることが紹介されました。これらの内容は、2月に東京でも発表される予定です。

### 白光中学校



#### 「共に生きる～認知症について～」

認知症絵本教室や認知症SOSネットワーク模擬訓練、車いす体験などの学習を経て、自分たちにできることについて、ポスターなどにまとめました。また、学習の成果を寸劇を交えて発表し、共生社会に向けた「白光宣言」の取組についても報告されました。

### 新居浜市立別子中学校



#### 「第2のふるさと ～限界集落と共に歩む我々の挑戦～」

愛媛県新居浜市には、かつて別子銅山があり、多くの人でにぎわっていました。銅山の閉山後、人口が減り、別子山地区は限界集落となっています。この地区にある別子中学校では、地域の人々と共に伝統文化を復興させ、様々な行事を立ち上げて「地域おこし」に取り組んでいます。

### 倉永小学校



#### 「仲間・家族・地域・郷土とつながる読書活動～大牟田が誇る絵詞(えことば)作家『内田麟太郎先生』に学ぼう～」

ESDの視点を取り入れた図書館教育の新しいスタイルが報告されました。地域や保護者と共に様々な読書活動に取り組むとともに、内田麟太郎さんの生い立ちや考え方に触れながら、その背景を探りつつ、「家族・友達・地域」とつながる作者の思いや願いをしっかりと受け止めていました。

### 駿馬北小学校



#### 「世界文化遺産『宮原坑』 (子どもボランティアガイド)」

大牟田市の世界文化遺産『宮原坑』。この地域の宝物のボランティアガイドを、駿馬北小学校では毎月行っています。12月のユネスコスクール全国大会でも多くのお客様を案内しました。これらの取組について、紹介が行われました。

### 手鎌小学校



#### 「大地に生きる手鎌 ～私たちがつなぐ農業と食文化～」

校区の歴史、産業、文化を踏まえ、地域とのつながりを重視した食育に関する活動の発表がありました。学校と地域をつなぐ「子ども朝市」や「共同農園」での地域の方との野菜作り、黒崎の伝統の食文化・串だごを守り広げていく活動など、農業と食文化でつながるまちづくりに向けて、子ども達が地域の方々と共に行動している姿が紹介されました。

### 熱き想いを東北へ！



今年も白光中学校からは、白光クッキーの売上金が被災した気仙沼市へ贈呈されました。大牟田と気仙沼との絆は、ここでもしっかりと結びついています。



今年の進行は、駿馬北小・駿馬南小・宮原中の児童・生徒と高口ルース先生でした。

※今回制定された「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」宣言の内容を共有し、大牟田のESDを次のステージへ高めていきましょう！